

議会運営委員会行政視察概要

令和2年1月31日（金）

於 国分寺市議会第一・二委員会室

午前10時 ～ 午前11時30分

1 調査の概要説明

…………… 豊島区議会皆川議長、本橋副議長、木島議会運営委員長、
木村議会運営副委員長

「議会における災害時の対応について」

平成28年に議長より災害時の議会のあり方について検討し、明文化していく必要性について、議会運営委員会へ諮問し、翌年にかけて5回の検討を経て、市議会災害対応規程及び災害対応マニュアルを策定している。

平成30年5月には、大災害発生を想定し、徒歩での参集訓練を行っている。訓練の際には、備蓄食料の試食や、防火水槽の蓋をあける訓練、放水訓練のほか、抜き打ちで災害対応マニュアルについての小テストを行うなど、ユニークな取り組みを行っている。

また、昨年台風19号接近の際には、実際に議会において災害対策支援本部を設置した事例について、時系列での対応経過、一連の対応についての検証・考察について教示いただいた。刻々と変わる天候の中で、議会の本部立ち上げ時期の判断に苦慮したこと、議員の安否確認の方法、市の災害対策本部からの情報伝達方法などについて、当時の反省も踏まえながら、中心となって対応した議員4名に、緊迫した状況の中で対応した貴重な経験についてお聞きした。

「その他議会運営にかかる先進的な取り組みについて」

平成18年2月から、毎年3月定例会の年1回の代表質問を日曜議会として、開会している。市職員及び傍聴の市民にも、この時期に日曜議会を開催することが定着しており、職員は、休日出勤の振替休日を取得することとしており、大きな負担とはなっていないとのことである。インターネット中継を行っているため、最近の傍聴者数は20～30人で推移しているが、平日の傍聴者数よりは多い状況になっている。

このほか、委員会（予算・決算特別委員会）のインターネット録画配信につ

いて、導入・運用経費、配信スケジュール、視聴者数、課題等について、教示いただいた。

2 主な質疑応答

「議会における災害時の対応について」

問 議員への情報提供は、メールで行うのか。

答 主にメールで行っており、必要に応じてFAXも併用している。議員の安否確認については、防災担当が構築した職員安否確認メールのシステムを活用している。

問 消防団活動との兼ね合いは、どのように取り決めているか。

答 災害対応マニュアルに、議員は、地域において、消防団活動等、市民の安全確保、避難所への誘導、被災者の救出・支援等を率先して行うとしている。実際には、その時々状況に応じて、議会の支援本部に来るか、消防団活動に従事するのか、判断することになると思う。

問 議員からの地域の情報の一元化は、どのように行っているのか。

答 台風19号時は、情報はそれほど多くはなかったが、現場の写真等も寄せられたので、支援本部で取りまとめを行い、災害対策本部に提供することができた。これは、東日本大震災の際に、個々の議員がバラバラに問い合わせを行い、これについての改善要望があった教訓が大きい。情報は、常に議長に一元化しなくてはならないという考え方を取っている。



避難所の様子を撮影した写真の提供は、本部が状況を知るための役に立ったようである。

問 災害時は、様々な情報が錯綜し、瞬時に色々な判断が必要となってくる。そういった時に議員が個々に要望をするのではなく、議会として情報の一元

化をしていこうとしているのだと思うが、こういった考え方の浸透のため、また議員全体の意識向上のために行っていることはあるか。

答 今回の台風 19 号襲来時は、議員が個別に災害対策本部に要望するということがなかった。議会で支援本部を立ち上げたことにより、災害対策本部からの情報が適時送られてくるという状況が議員に浸透したのではないかと考えている。

また、全員強制ではないが、上級救命講習を受講しており、大半の議員が受講している状況である。3年ごとの更新が必要であり、また講習を実施することになると考えている。

さらに、議員の参集訓練も、議会構成が変わる2年ごとに行っていく必要があると考えている。

問 大きな災害の場合は、支援本部の立ち上げも難しいような状況が想定されるが、そのような場合はどうするのか。

答 議長が参集できない場合は、権限の順位付けを対応規程に明記しており、議長、副議長、議運委員長、常任委員長と順位付けを行っている。

問 災害が大きくなった場合の課題は。

答 災害が大きくなればなるほど、議会事務局の職員体制にも影響が出てくると考えられるので、支援本部からの情報発信についても、事務局が機能するかどうかによって、影響が出てくると考えている。

「その他議会運営にかかる先進的な取り組みについて」

問 傍聴者数の増加のために工夫していることはあるか。

答 年に1回の日曜議会の開会については、市民に定着している。駅前のホールで出張議会をしないかという提案があり、実現に向けて検討した。

また、議会だよりを市の広報誌と一体化したことにより、議会だより単体で発行していた時よりも読者が増えた。もともとは、財政難のためポスティング費用を削減するための策として行ったが、奏功している。

以 上